

拝啓 桜の時期も過ぎて、早や4月下旬となりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。今年は桜の花が1-2週間も開花が遅れましたし、ほとんどの花が遅れがちのようです。これからも例年より少し遅れて、花みずきが咲くでしょう。

今月は、モーク先生の第12回目で、モーク先生の最終回となります。モーク先生の追憶集『ミス・ローラ・モーク その信仰と生涯』、『エデンのかけ橋』の2冊の本から抜書きして「エンカウンター」に掲載しましたが、文章を写している時、モーク先生の信仰と人柄の素晴らしさに深い感銘を受けました。小西先生は、そのモーク先生から信仰と人柄を学ばれたから、あのように謙遜で忠実な伝道者におなりになったのだと思いました。私はこの1年間、本当に良い勉強をさせていただきました。次回からは、小西先生の『ローマ人への手紙 講解説教』から引用、紹介することに致します。

3月27日に、香川県東かがわ市の南原先生の郷里をたずねました。途中、鳴門にある大塚国際美術館を訪ねました。大塚国際美術館は2回目でしたが、今回も目当ての「アテネの学堂」その他の名画を鑑賞してまいりました。世界中の有名美術館や教会にある絵の写真の陶板への焼き付けによる複製の絵ですが、原寸大ですから、実に迫力があります。徳島県、香川県に行くことがありの時はぜひ時間を十分取って立ち寄られることをお勧めします。

南原先生のふるさとでは、引田の民宿に泊まり、3月28日に、先生の生家跡から旧制大川中学校跡まで、通学路を歩いて参りました。往復22キロ、無事歩けました。南原研究会から3人参加してくれました。現在の国道とは別の旧道を明治36-40年頃の風景を頭に浮かべながら歩きました。当時は、車もなく、鉄道もなく、瀬戸内海の見える阿讃山脈のふもとののんびりとした道だったでしょう。朝5:45に、南原先生の家跡を出発し、8:36に元の中学校跡に着きました。帰りは、1:15に出発し、寄り道をしながら、4:33に到着しました。行きは今城和夫元三本松高校校長が、帰りは現三本松高校教諭の三好輝徳先生と一緒に歩いて下さり、道々いろいろなことを教えて頂き、大変有益な散歩でした。この毎日の通学が、南原先生の健康と精神力を鍛えたと思えました。直前に映画で「マーガレット・サッチャー」を見ましたが、彼女の演説中の「考えよ。行動せよ。習慣にせよ。それが人格を作る」という毎日の習慣が人格を作るという言葉に感銘を受けたばかりでしたので、南原先生の通学は、人格形成の上で大きな役割を果たしたと思えます。

季節の変わり目につき、お身体ご自愛のほど祈り申し上げます。

平成24年4月22日

山口周三

エンカウンターのご読者各位